

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
甲府市	甲府市	平成 29 年度～令和 3 年度	平成 29 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	生活系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( %)	kg/人 ( %)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t ( %)	t ( %)	%
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目 標※3	
総人口	191,659 人	188,747 人	185,652 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	182,834 人	182,839 人	180,156 人	-535.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	95.4%	96.9%	97.0%	106.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	259 人	192 人	202 人	85.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.1%	0.1%	0.1%	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,650 人	3,451 人	3,528 人	93.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.4%	1.8%	1.9%	83.3%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3,916 人	2,265 人	1,766 人	130.2%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	(1)ア	生活雑排水の適正な維持管理の指導	甲府市	水切り袋の使用、廃油回収等の排出抑制対策の推進	平成 29 年度～令和 3 年度	水切り袋の配布や廃油回収等を行い、排出抑制対策の推進を図った。
	(1)イ	生活雑排水の適正な維持管理の指導	甲府市	広報誌・ホームページ・チラシ配布等による広報活動の実施	平成 29 年度～令和 3 年度	広報誌・ホームページ・チラシ配布等による広報活動を実施し、普及啓発に努めた。
	(2)	浄化槽の適正な維持管理の指導	甲府市	浄化槽の維持管理について、保守点検等の維持管理を適正に実施するよう指導する。	平成 29 年度～令和 3 年度	浄化槽の立入調査を含む法定検査受検指導を行い、適正な維持管理について指導した。
	(3)	単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換推進	甲府市	汚濁負荷の低減を図るため、合併処理浄化槽への転換を促進する。	平成 29 年度～令和 3 年度	広報誌・ホームページ等による広報活動を行うとともに、立入れ検査時指導を行い、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進を図った。
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	甲府市	計画基数 5人槽 94基 7人槽 56基 10人槽 5基 計 155基	平成 29 年度～令和 3 年度	実績基数 5人槽 60基 7人槽 32基 10人槽 0基 計 92基

施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### (生活排水処理)

- 生活排水の公共下水道の処理人口については、行政区域の市街化区域内人口の減少に伴い、下水道処理区域人口も減少したため目標に達しなかったが、集落排水施設等や合併処理浄化槽等の各処理人口及び人口普及率は目標に達成し、未処理人口についても公共下水道への接続により着実に減少している。
- 今後も公共下水道の整備、合併処理浄化槽の普及を推進して公共用水域の水質保全に努めたい。

#### (個人設置型浄化槽整備事業)

- 実績基数が少なかった要因として、令和元年10月から消費税が増税する前の住宅需要を見込んだところ、令和元年から発生した新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな影響を及ぼし、地域経済活動の停滞を招いたことにより住宅需要が減速したことから、循環型社会形成推進交付金対象地域である下水道計画区域外の住宅に設置する浄化槽基数も減少したことが原因と思われる。
- 今後も浄化槽設置に係る補助金制度の周知を図り、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進するとともに、浄化槽の適正な維持管理の指導を行い、公共用水域の水質保全と生活環境と共生する循環型社会の形成を目指していく。

#### (都道府県知事の所見)

公共下水道の汚水処理人口普及率に関しては、整備による汚水処理人口の増加よりも、市街化区域内の人口減少速度が上回ったことにより、結果として処理人口は目標を下回ってしまったものの、処理率の着実な増加が見受けられる。

また、合併処理浄化槽等の整備は、計画基数を整備することはできなかったものの、目標を上回っており、計画的に整備されていることは評価できる。

今後も、引き続き生活排水処理施設整備に努めていただきたい。

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
甲府市	甲府市	平成 29 年度～令和 3 年度	平成 29 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。  
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口	182,834 人	182,839 人	180,156 人 -535.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

(生活排水処理)

公共下水道

- ・ 行政区域の市街化区域内人口の減少に伴い、下水道処理区域人口も減少したため。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和8年度 まで

(生活排水処理)

公共下水道

- ・ 汚水衛生処理人口については、甲府市人口ビジョン（令和2年度改定版）を基に、将来予想を分析する中で目標値を設定する。

(都道府県知事の所見)

公共下水道事業については既に概成となっているものの、残りの未処理人口についても着実に減少させるため、適切な目標設定および事業の実施をしていただきたい。